

一般社団法人栃木県バスケットボール協会  
平成30年度 第7回理事会議事録

日時:平成31年3月19日(火)

会場:文星芸術大学附属高校研修室

出席:(理事)16名 阿部泰紀、上野秀夫、小曾戸和彦、片桐晃、遠藤嘉津敏、高橋哲夫、鈴木克美  
福田悦男、直井秀幸、新村雅司、渡辺諭、益子基久、前原延之、日向野剛  
山田将樹、阿久津宏一(代理:小林史雄)

欠席:(理事)4名 菊地宜秀、佐藤智信、日向野信行、佐々木清美  
(監事)2名 井上尉央、荻美紀

## 1 あいさつ

阿部会長: Jrオールスターや全国ミニバスケット大会が残っているが、今年度最後の理事会になる。  
よろしく審議願う。

## 2 報告事項

### (1)各種大会報告

ア 高体連: 3/9・10に強化大会を作新で実施した。

U13・14・15を交えて、高体連3地区から5チームを編成し実施し強化を図った。

イ 3×3: 3/3(日)に雨天で寒い中、オリオンスクエアで「3×3の日」を実施した。

その他として、東京オリンピックの3×3TO育成がスタートし、本県から8名が参加している。

ウ 社会人: 全国社会人選手権大会が鳥取県で開催された。TBCが出場し東北1位のチームと対戦した  
延長の末敗退した。

### (2)3×3委員会より

ア 来年度については、大会を4回、宇都宮市長杯、クリニック等を実施を検討している。

イ オリオンスクエアの改修工事が行われるので「3×3の日」に実施について検討していく。

ウ 各連盟からの委員の推薦を5名にしたい。

### (3)強化部より

ア U16選抜メンバー第1回選考の結果について

○3/9・10の強化大会の結果より第1回の選考を実施した。

○男子は2勝1敗、女子は3勝と強化の成果は表れている。

○今後、新高2の早生まれの洗い出しと新中3の飛び級対象者の発掘を行う予定である。

イ DCスタッフの状況について

○3/7(木)にDCセンター立ち上げのための全体会を実施した。

○DCセンターの在り方については、いろいろあるが、今後整理していく。

○DCコーチ陣を推薦するので承認願う。

●承認については審議事項なので審議に回す。

### (4)アンダーカテゴリー部会の進捗状況について

ア U12部会

○U12の選抜チームが福島・新潟・埼玉遠征を実施した。

○男子は出遅れている感があるが、女子は強化が図られているようである。今後の期待する。

### (5)指導者養成委員会より

○今年度の事業はリフレッシュ講習会をもって終了した。

○検案となっていたバスケットボール10カ条について、手直し来年度から活用していく。

○来年度のJBAのB級指導者養成講習会に参加者を4名推薦した。

○これらの指導者は、県内の指導者養成講習会の講師として活用していく。

### (6)審判委員会より

○来年度の講習会・研修会の日程が決定した。

### (7)その他の報告

ア BREX関係

①レギュラーシーズン順位: 38勝9敗、東地区2位、全体2位、平均観客動員: 3954名、全体2位

②CSホーム開催となる、自地区1位かつ3地区間1位通過が目標

③B1来選手取得決定

イ JBA応援プロジェクト登録のお願い。

○2019年度以降はJBAにおいて、U18の育成強化は実施しないことになった。

## 3 審議事項(議長: 会長)

定足数について: 理事総数20名、内出席者16名で、本会議は成立する。

議事録署名人: 審判 渡辺 諭 氏とミニ連 小林史雄 氏 をお願いする。

### (1)平成30年度補正予算(案)について(財務部)

○総収入額4,154万円で当初予算額4,554万円に対してスポンサー収入等が入らなかったため  
減額となった。

○経常収支予算4,339万円との差額が185万円の赤字予算を組むことになる。

○前年度からの繰越金が344万円あるので差引159万円の黒字となる。

—承認される—

(2) 平成31年度事業計画(案)について(事務局)

- 各連盟から提出された事業日程をまとめた。
- 定時大銀総会を6/30に実施したい。
- 日程が未定の部分があるが現時点で承認願う。

—承認される—

(3) 平成31年度予算(案)について(財務部)

- 今年度実績により予算を、4,272万円の収入に対し、4,185万円の支出を組んだ。
- 単年度決算では86万円の黒字となるが、法人税・住民税更には、D-fundの返金等が生じれば非常に厳しい予算である。
- スポンサー収入の獲得について協力願う。

—承認される—

(4) 個人情報保護関連規定(案)について(事務局)

- JBAの新登録システムを稼働させるために、個人情報保護関連規定を整備する必要がある。
- JBAのサンプルを参考に、監事にも検討願う作成した。
- 3/27運用開始に合わせるため承認願う。

—承認される—

(5) 裁定規程(案)について(事務局)

- JBAより、裁定規定・規律規程を、今年度中に策定して、4/1から運用するように指示があった。
- 競技に関する問題事項は規律規程、それ以外の問題事項については裁定規程とする。
- JBAのサンプルをもとに作成して、監事にも内容を確認してもらった。
- 平成27年度に、当時の栃バ協裁定規程を作っているが、規律規程との区別がないので、今回の規程が承認されれば、今日付で破棄したい。

—承認される—

(6) 規律規定(案)について(事務局)

- 競技および競技会に関する問題事項に対して規律規定を策定する。
- JBAのサンプルをもとに作成して、監事にも内容を確認してもらった。
- ゲーム中テクニカルファウル等で退場処分となったプレーヤーや指導者等に対して、ゲーム中の処分の他に、規律委員会でも懲罰について審議することになる。
- 各連盟にも規律委員会を作ることになる。

—承認される—

(7) DCコーチの承認について(強化部)

- 報告事項で説明のとおり、承認願う。

—承認される—

(8) U16国体少年男子の韓国遠征について

- 今年度まで国体少年男子の強化事業として実施していた韓国遠征について、U16のスタッフから継続実施したい意向が強化部に上がってきた。
- 強化部としては、個人負担が多い、強化費の使い方に等により、国内での強化が望ましい。
- 理事会として実施について審議してほしい。

- 少年種別で男女によって強化方法に差があること、個人負担が多いこと、費用対効果の検証、新たな強化方法の検討等の意見が出された。

審議結果

U16の国体強化として、新たな強化の方向を、スタッフと強化部で協議する。

#### 4 その他

(1) 中体連より

- 来年度委員長が変わる。
- 理事としては変わらないので、中体連との連絡調整はしていくので承知願う。

#### 5 あいさつ

上野副会長：来年度の事業・予算等重要な審議ありがとうございました。